

今日は、初めに水についてお話をします。

私たちは水がなければ生きていけません。そして、安全な水を確保することは命に関わる重要な問題です。現在、日本では、水道が普及したことによって安全な水を安定的に確保できるようになりました。そのために、不衛生な水が原因で命を落とすというようなことはなくなりました。

ところで、最近、水道の水がおいしくなったということが言われています。これは、河川の水質が改善されてきたからだと思います。また、水を浄化する技術が向上したことも関係していると思います。

昔を思い出しますと、水道の水はまずかったという印象があります。そういうことが背景にあったからなのでしょうが、四十年くらい前からペットボトルの水が販売されるようになりま

した。そのときは、わざわざお金を出して飲み水を買う人がいるのだろうかと思いましたが、現在では種類も増えて、とても重宝しています。

日本は、昔から水が豊富な国だと言われています。しかし、水というのは限られた資源であります。これからも安全でおいしい水が飲めるように、ふだんから水を大切にすることを心がけたいと思います。

次に、自転車についてお話をします。

私は、学生の頃、毎日自転車で通学していました。就職してからはほとんど乗らなくなりましたが、私の友人に自転車で通勤している人がいます。交通費はかかりませんが、健康のためにもよいことかもしれません。

ところで、最近、自転車による交通事故が増えてきているそうです。特に、歩行者にぶつかって大けがをさせたというケースが目立っています。

私も、歩道を猛スピードで走ってきた自転車にぶつけられそうになって、冷やりとしたことがあります。

皆さんは、道路交通法という法律を御存じかと思いますが、その中で、自転車は自動車と同じような位置づけになっています。そういうことから、もともと自転車は歩道を走ってはいけなさとされています。さらに、夜間はライトをつけることが義務づけられています。ましてや、携帯電話をかけながら片手運転するなどというのはもつてのほかであります。

自転車はすぐに止まれるし、人にぶつかっても大したことがないなどと甘く考えるのは大きな間違いであります。場合によっては、人に大けがをさせることもあるということを常に心がけてもらいたいと思います。(了)